

平成24年度
実施事業

事務事業名	中山間地域等直接支払交付金
-------	---------------

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	2	自然を活かした産業の育成
施策	1	特色ある農業・漁業の推進
小分類	3	ゆとりある酪農・畜産経営の促進
主要な施策	1	①新規就農者、担い手農業者への支援
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 12 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	農林水産グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください) 農業生産条件が不利な中山間地域において、耕作放棄地の発生を防止し、農地の多面的機能の確保を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください) 中山間地域等直接支払交付金事業を実施し、中山間地域の農業者で構成する集落に対して交付金を交付した。 【事業実績】 ・交付対象 集落1カ所 ・交付集落における実施事業 牧草地の維持管理活動、雨水による草地流亡補修、家畜伝染病蔓延防止対策 ・対象農用地 登別市牧場：45.12ha ・補助率 国費：50% 道費：25% 市負担：25%
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) 集落協定に基づき、急傾斜農地の保全のため集落の活動に対して交付金を交付し、事業を継続していく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください) 中山間地域等直接支払交付金実施要領

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分	単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金 名称 中山間地域等直接支払交付金	千円	885	885	885	885	885
道支出金 名称 中山間地域等直接支払交付金	千円	442	442	442	442	442
地方債 名称	千円					
その他 名称	千円					
一般財源 名称	千円	443	443	443	443	443
事業費 合計		1,770	1,770	1,770	1,770	1,770

指標の推移 《Check》

区分	単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 放牧家畜予防接種	頭	目標値	95	95	95	95
		実績値	91	94			
	② 雨水による通路等のガレ補修	箇所	目標値	1	1	1	1
		実績値	1	0			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
生産条件が不利な急傾斜の農用地では、土砂崩壊の危険や農地の保全が難しかった。	国、北海道、市の補助により、対象農用地の市牧場の維持・保全が図られ、また、放牧利用家畜の疾病予防対策が図られている。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 北海道への補助申請は市町村が行うこととなっていることから市が行う事業である。
	<input type="radio"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 市牧場は地元農業者が要望している育成牛等の放牧場であるため、保全する必要がある。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 市牧場を利用することで、乳牛等の飼養管理労働が軽減され、また、草量が少ない農業者においては、経済的にも効果は大きい。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 牧場施設の補修や牧草への施肥、家畜伝染病の防止等により放牧牛や馬の健康が保たれている。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	中山間地域等直接支払交付金対象農地である登別市牧場は、放牧を目的とした草地の維持・保全活動を通して、多面的機能を確保する必要があることから事業継続とする。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

維持	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大(事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持(事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善(当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止(暫定的に休止する事業)
- ◆廃止(事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了(事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)